

特定非営利活動法人「防災のことは研究会」



☆6月12日（金）定期研究発表会のお知らせ

テーマ：地方自治体における意思決定システム構築と伝え方・言語表現

地方自治体の危機管理課では、避難準備情報・避難勧告・避難指示の発令に際し、意思決定をするための基準はもうけています。しかし、人事異動が頻繁に行われるため、危機管理課の職員の皆様全員が、過去の災害発生の経験があるわけではなく、緊急の防災情報を有効利用することができるとは限りません。そのことで、近年起きている大災害において、意思決定が遅れたり、情報伝達内容の統一などがされていなかったケースもありました。

今回は、このような問題をどのように解決できるか、当研究会の会員で総務省消防庁消防大学校消防研究センターの、河関大祐さんと遠藤真さんに以下の内容で研究発表をしていただき、質疑応答、意見交換をしたいと思います。

代表理事長：新井恭子



平成27年度第2回定期研究発表会

6月12日（金）

時間：18：30～20：30

場所：東洋大学白山キャンパス 1302 教室

<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>



発表内容

発表者：遠藤真氏

所属：消防庁消防大学校消防研究センター
地震等災害研究室支援研究員

タイトル：応急対応支援システムの紹介

概要：市町村の防災を担う担当者が、かならずしも防災のプロではありません。また、災害を経験したことが無い方が大半で、災害に対するマニュアルも決して十分に用意されていないという現状があります。そこで、災害が発生した時に意思決定のサポートをするためのツールを作成しました。今回は、開発の経緯から実際の使用法までをご紹介します。

発表者：河関大祐氏

所属：消防庁消防大学校消防研究センター
技術研究部上席研究官

タイトル：防災情報文章作成支援サブシステムの紹介

概要：水害に際して、住民が自らの安全を確保するために必要な防災情報や避難情報を、誤解なく理解しやすく、避難行動に結びつく広報文章の生成を目標とする防災情報文章作成支援サブシステムの開発研究を紹介します。

入会案内



入会条件は特にありません。
災害の時の情報の伝達について、
問題意識のある方なら、どなたでも入会頂けます。

【会員の特典】

- 1 研究会、シンポジウム等のイベント参加費無料（研究発表の権利）
- 2 情報交換のためのメーリングリストに登録。
- 3 研究会の出版物、論文集の無料配布（投稿の権利）

【年会費】

（期間：4月～翌年3月）

一般 3,000円
学生（院生を含む）1,000円
賛助会員 10,000円

【振込先】 ゆうちょ銀行
店名：〇〇八 店番：008

貯金種目：普通預金
口座番号：5162692
口座名義：特定非営利活動法人
防災のことは研究会

※または、研究会やイベントに参加されたときにお支払いいただいても結構です。

Hurry Up!



今後のイベント

7月11日（土）14:00～16:00

タイトル：夏休み「防災のことはの教室」

『伝えよう命を守ることは』
～夏休みの自由研究の提案～

場所：東洋大学地域連携推進室（研修室）
東洋大学白山キャンパス8号館1F

- ※ 小学生のお子さんと、お父さん・お母さんの参加者を多数募集いたします！
- ※ 詳しい内容は、後ほど、ホームページに掲載します。

今後、7月に一般参加の「伝わりやすい防災のことは討論会」、9月にシンポジウムなどを予定しております。



事務局

〒112-8606

東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経営学部第53研究室

代表理事長 新井恭子

電話：（研究室直通）03-3945-4898

メール：aria-k@bousainokotoba.com

HP：<http://www.bousainokotoba.info>